

令和4年度 奈良県立盲学校 学校評価総括表

【特別支援学校用】

| | |
|--------|--|
| 年度 | 令和4年（計画1年目） |
| 教育目標 | ◇一人ひとりの能力、特性を見極め、それらを生かす知識・技能 の習得を図り、自立を目指して生きる力を培う ◇一人ひとりの能力、特性を見極め、それらを生かす知識・技能 の習得を図り、自立を目指して生きる力を培う ◇理療に関する知識と技術を身につけ、職業人としての資質を育成する |
| 年間重点目標 | 教員の専門性の維持継承を進める。 |

| | |
|------|--|
| 運営方針 | * 教育目標の具体化を図るため、教員一人一人が学校運営の参画者であるという意識をもち自己研鑽に努める * 幼児児童生徒の実態を見極め、それぞれの成長と目標を実現達成できる教育課程づくりに取り組む * 学校と家庭、地域との連携を図り、共同しながら地域にある学校づくりを進める |
|------|--|

奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示す各テーマごとの学校教育目標

| テーマ | 学校の教育活動に関する目標(A) | 計画期間における具体的目標(B) | 令和4年度末の目標値等(C) | 令和4年度末の状況(D) | 自己評価(E) | 学校関係者評価(F) |
|---------------------------|--|-----------------------------------|-------------------------------------|--------------|---------|------------|
| 1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ | 子どもの健康や安全などの指導の充実 | 熱中症予防に努める | 熱中症対策ガイドラインを作成し、BGT簡易測定器を使用し定時に計測する | | | |
| | 運動習慣の定着を図る指導の充実 | スポーツテスト・体力作り・クラブ活動等の実施（年2回以上） | スポーツテスト・体力作り（行事）クラブ活動の実施（年2回以上参加） | | | |
| | 学校給食を活用した食育の推進 | 食文化の理解を深め、望ましい食習慣を身につけさせる（年10回） | 国内外の料理やマナー等を教員及び掲示により発信する。月1回以上。 | | | |
| 2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ | I C T 活用教育の推進 | 職員向けの研修を実施する 学期に1回 | 学期に1回 | | | |
| | 視覚障害教育の専門性の継承 | 講師を招いての研修会実施 学期に1回 | 学期に1回 | | | |
| | 子どもの特性に応じ、見通しをもって粘り強く取り組む力の習得を意識した授業改善 | 効果的な指導法を追求する公開授業の実施（年2回） | 公開授業参加率80パーセント以上 | | | |
| 3. 働く意欲と働く力をはぐくむ | 関係諸機関と連携を図る | 事業所及び治療院と連携する（年10回） | 年間延べ10回以上、訪問。（進路につながる会議の実施） | | | |
| | 進路開拓の推進を図る | 実習・見学の受け入れ先を増やす（3社以上） | 実習・職場開拓（述べ10社） | | | |
| | 理療教育の充実 | 外部講師を招聘して研修会を実施（年2回） | 参加率80パーセント以上 | | | |
| 4. 地域と協働して活躍する人を育てる | 市町村教委と連携を密にする | 地域の学校と交流及び共同学習を実施する（年5回） | 幼小学部（延べ3回以上） | | | |
| | 「盲学校見えにくさの相談会」の情報発信 | 教育相談・見え方についての相談・福祉機器展の来場者へ情報提供を行う | 啓発案内、HPで情報発信する（100名） | | | |
| 5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる | 「いくならみるな盲学校」の情報発信 | 県民だより、HP等、報道範囲を拡げる | HPで発信する（100パーセント） | | | |
| | HPの充実 | HPを随時更新する（月1回以上） | 各学部・寄宿舎（延べ3回以上） | | | |
| | 臨床センターの情報発信 | 学校運営協議会との連携（年2回） | 患者数（延べ学期に10名） | | | |

3 評価結果の分析、今後の改善方策等

| |
|--|
| |
|--|